



大人向け電子絵本発刊

「P.I.M」を絵本動画にした。絵本形式で分かりやすく技術を理解できると好評だ。

現在は京都出身の作家サトウヒロシさんの「明日死ぬかもしれないから今お伝えします」がヒット中。今井さんは「作品の中からリアルな紙の絵本への発展形も目指したい。今はその実現のためにパートナーシップを結んでくれる出版社を探している。今後は絵本事業の売り上げを最大化するのが目標だ」と意気込んでいる。(仲屋聰)



代表 いまい しゅうじ
今井秀司さん

同志社大大学院修了(MBA)。2011年9月にピースライフジャパンを創業。「絵本屋.com」事業とコンサルティング事業を開拓。著書に「どうして、あの人は私を紹介してくれるのか?」(ごきげんビジネス出版)がある。兵庫県豊岡市出身。41歳

「忙しい大人の日常に一時の潤いを」そんな思いを形にしたのが大人向けの電子書籍によるデジタル絵本だった。スマートフォンやタブレット端末で社会人が心安らぐ物語を気軽に読める。ピースライフジャパン代表の今井秀司さんが主宰となり、2015年に大人が楽しめる電子書籍絵本レーベル「絵本屋.com」を立ち上げた。

これまで約60冊の電子書籍絵本を発刊し、AmazonのKindleストアなどで取り扱われている。中年男性の活劇を万年筆で描いた「レノン40」などが売り上げの上位にランクインしてきた。現在は京都出身者を中心とした11人の絵本作家と契約して、新たな電子書籍のジャンル確立を目指している。

韓国・台湾向けも刊行した。3年目を迎えた電子書籍絵本レベルは翻訳されて一般の消費者向けからビジネス分野にも広がりを見せている。アテクトからの依頼で、動画サイト「ユーチューブ」で同社の金属とセラミックの新世代成形技術

を切り開いた。需要が多い中国向けにも現在契約を進めている。また、一般的の消費者向けからビジネス分野にも広がりを見せている。アテクトからの依頼で、動画サイト「ユーチューブ」で同社の金属とセラミックの新世代成形技術

最前線 京滋ビジネス・ベンチャー

「忙しい大人の日常に一時の潤いを」

そんな思いを形にしたのが大人向けの電子書籍によるデジタル絵本だった。

スマートフォンやタブレット端末で社会人が心安らぐ物語を気軽に読める。ピースライフジャパン代表の

今井秀司さんが主宰となり、2015年に大人が楽しめる電子書籍絵本レーベル「絵本屋.com」を立ち上げた。

「絵本屋.com」が提携している出版社から表彰を受けた絵本作家のサトウヒロシさん(右)と「みたすえさん